

お知らせ

令和 8 年 1 月 20 日

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院

病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

研究題名 脳腫瘍 PET データを用いた脳内神経回路結合性の研究

目的 脳腫瘍病変が脳の神経回路の結合性にどのように影響するかについて脳腫瘍の特性及び病理学的性質の観点から解析することにより、浸潤、増大する腫瘍の病態理解を深め、診断技術の向上を目指します。

対象 2012 年 3 月以降 2025 年 11 月までに当院で実施された PET および MRI による脳腫瘍精査を受けられた、中部脳リハビリテーション病院（旧 木沢記念病院）の脳腫瘍患者の皆様。

方法 当院で実施された脳腫瘍 PET 検査データを用い、脳内の各領域間で同期して活動している部位を計算することで、脳内の神経回路が脳腫瘍によってどのような影響を受けるか、回路の結合状況が脳腫瘍の診断にどう役立つかを調べます。

また、PET データ解析のための解剖学的情報を得るため、または PET による所見の有用性 (MRI データとの関係) を調べるため、脳腫瘍検査で同日に実施されている MRI 検査結果も用います。

人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行います。

研究代表者 池亀由香（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター 脳神経外科）

中部脳リハビリテーション病院では患者様より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では 2012 年 3 月以降 2025 年 11 月までに当院で実施された PET および MRI による脳腫瘍精査を受けられた、中部脳リハビリテーション病院（旧 木沢記念病院）の脳腫瘍患者の皆様のデータを使用致します。

この件につきまして疑義がございましたら令和 8 年 4 月 19 日までに下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
事務長 坂下 重吾